

より良いヘルスケアジャーニーを、ともに。

シスメックスは、一人ひとりの生涯にわたるヘルスケアの旅路「ヘルスケアジャーニー」がより良いものになるよう、テクノロジーとソリューションで支えていく。

「ヘルスケアジャーニー」において重要な役割を担う検査・診断にさらなるイノベーションを起こすとともに、個別化医療や新たな治療の領域においても、さまざまなステークホルダーとの協創を通して、ユニークな価値を提供していく。

人々、また社会に、より確かな安心をお届けするために、社会価値と経済価値を創出するサステナブル企業として成長し続ける。

Together for a better healthcare journey

目次

01 シスメックスについて

Current Picture



- 01 ■ コーポレートメッセージ Together for a better healthcare journey
- 05 ■ グループ企業理念
- 07 ■ シスメックスのあゆみ
- 09 ■ スナップショット(シスメックスの経営資源)
- 11 ■ シスメックスのビジネスモデル

15 シスメックスの価値創造

Prospects



- 17 ■ グループCEOメッセージ
- 21 ■ 価値創造ストーリー
- 23 ■ 長期経営戦略
- 25 ■ マテリアリティ(優先する重要課題)
- 27 ■ 基本戦略
- 29 ■ 長期的な提供価値
- 31 ■ 現場の声

33 中期経営計画と取り組み

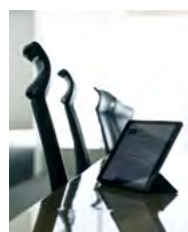
Initiatives



- 34 ■ これまでの経営計画
- 35 ■ 社長メッセージ
- 39 ■ 中期経営計画の概要
- 41 ■ 中期経営計画の目標
- 43 ■ 中期経営計画重点アクション
- 55 ■ 財務担当役員メッセージ
- 59 ■ パフォーマンスハイライト
- 62 ■ 2022年度トピックス
- 63 ■ サステナビリティ目標の進捗状況
- 71 ■ ステークホルダーエンゲージメント

73 コーポレート・ガバナンス

Management



- 74 ■ 社外取締役メッセージ
- 77 ■ コーポレート・ガバナンス
- 81 ■ リスクマネジメント
- 83 ■ 取締役
- 87 ■ 執行役員

89 財務・企業概要

Data



- 89 ■ 経営成績および財務分析
- 95 ■ 連結財務関連データ(10年度)
- 97 ■ 連結財務諸表
- 101 ■ シスメックスの事業
- 104 ■ 主な製品・サービス
- 107 ■ 用語集
- 109 ■ 株式情報
- 110 ■ 会社情報

編集方針

「シスメックスレポート」は、ステークホルダーの皆さまにシスメックスの中長期的な価値創造についてご理解いただきたいという想いから、財務・非財務情報を簡潔にまとめた「統合報告書」として作成しています。より詳細な情報はWebサイトやサステナビリティデータブックをご参照ください。

編集においては、IIRC「国際統合報告フレームワーク」および経済産業省「価値協創ガイド」などを参照しています。

情報開示体系

財務情報	非財務情報
統合報告書「シスメックスレポート」(年度報告書)	
IR情報サイト https://www.sysmex.co.jp/ir/index.html 財務情報や株式・株主情報を詳細に開示しています。 ・有価証券報告書 ・決算短信 など	サステナビリティサイト https://www.sysmex.co.jp/csr/index.html ・サステナビリティデータブック(年度報告書)(PDF) https://www.sysmex.co.jp/csr/report/index.html
コーポレート・ガバナンスに関する報告書 https://www.sysmex.co.jp/corporate/governance_j.pdf	

対象組織

原則としてシスメックスグループ(国内・海外グループ会社を含む)を対象としています。本レポート中の「シスメックス」はシスメックスグループを、「シスメックス株式会社」はシスメックス株式会社単体を指します。

見通しに関する注意事項

本レポートに記載されているシスメックスの将来の戦略・計画・業績などは、現在入手可能な情報に基づくものであり、リスクや不確定な要素を含んでいます。これらの見通しと実際の業績が大きく異なる可能性があります。

会計基準・会計方針

当グループは、2016年度より国際会計基準(IFRS)を任意適用しています。本レポートにおける財務数値は、2014年度以前は日本基準に、2015年度以降はIFRSに準拠して表示しています。

2022年3月期に、クラウド・コンピューティング契約におけるコンフィギュレーションまたはカスタマイゼーションのコストについて、サービスを受領したときにそのコストを費用として認識する方法に変更しており、2021年3月期の数値についても遡及適用しています。

対象期間

2022年度(2022年4月1日～2023年3月31日)を対象期間としていますが、一部、2023年4月以降の活動内容を含みます。

カバーストーリー



シスメックスは、患者さんにとってより負担の少ない検査・診断技術の確立および国内外への普及促進に取り組んでいます。その一環として、微量の血液からアルツハイマー病の原因となる脳内アミロイドβの蓄積状態を調べる検査試薬を販売しました。健康で長生きをしたいという人々の普遍的な願いに寄り添い、ヘルスケアジャーニーがより良いものになるよう、独自のテクノロジーとソリューションを通じて一人ひとりに最適な医療の実現に貢献していきます。

» Webサイト ブランドコンセプトムービー



サステナビリティデータブック

グループ企業理念

「ステークホルダーの皆さまへ確かな“安心”をお届けする」

——創業以来変わらぬシスメックスの想い——

シスメックスのグループ企業理念「Sysmex Way」には、お客様、取引先、従業員に「安心」をお届けするという創業者中谷太郎の想いが脈々と受け継がれています。その想いを大切に私たちは、ステークホルダーの皆さまを常に意識して経営・行動してきました。また中谷は、この世には永遠というものはなく、満つれば欠けるのが世の習いであり企業もその例外ではないとし、絶えず変わりゆく社会の中で企業が存続し続けるためには、私たち自身が挑戦し、変わり続けることが大切だと説きました。シスメックスは健康で長生きしたいという人々の普遍的な願いに寄り添い、一人ひとりに最適な医療の実行にまい進し、ヘルスケアの進化に挑戦し続けます。

創業の意志



創業者 中谷 太郎

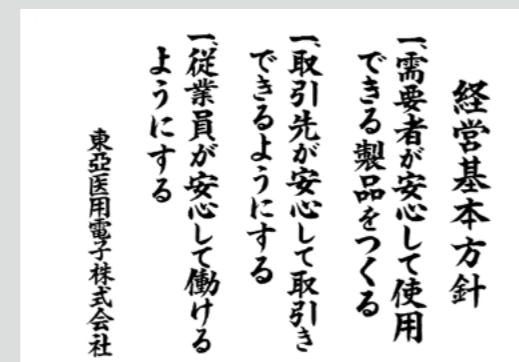
創業者の中谷太郎は、「われわれが生み出す製品の提供により、社会課題の解決に貢献するとともに、われわれ自身の生活を豊かにする」ことを企業目的に掲げ、創業理念「三つの安心」を定めました。

「三つの安心」とは

お客様
への安心

取引先
への安心

従業員
への安心



創業理念「三つの安心」

2007年、シスメックスは創業理念の価値観を継承し、発展させたグループ企業理念「Sysmex Way」を制定しました。私たちが社会に貢献し、そして成長し続けるためのMission、Value、Mindで構成されています。Missionはシスメックスが社会に存立する意義、Valueは大切にすべき価値観や経営姿勢、Mindはシスメックスで働く一人ひとりが遵守すべき心構えを表明しています。また、Shared Values*では「三つの安心」で示されたお客様・取引先・従業員に加え、株主様と社会というステークホルダーに対しても「安心」を提供していくことを宣言しています。

Sysmex Way

Mission

ヘルスケアの進化をデザインする。

Value

私たちは、独創性あふれる新しい価値の創造と、人々への安心を追求し続けます。

Mind

私たちは、情熱としなやかさをもって、自らの強みと最高のチームワークを発揮します。

Shared Values

お客様に対して

常にお客様の視点で行動し、確かな品質ときめ細やかなサポートにより、お客様に安心をお届けします。常にお客様が真に求めるものが何かを追求し、お客様の期待を超える新しい価値を提案します。

従業員に対して

多様性を受け入れ、一人ひとりの人格や個性を大切にすると共に、安心して能力が発揮できる職場環境を整えます。自主性とチャレンジ精神を尊重し、自己実現と成長の機会、成果に応じた公正な処遇を提供します。

取引先に対して

公平・公正を基本とした幅広い取引により、取引先の皆様に安心をお届けします。相互の信頼関係と研鑽により、取引先の皆様と共に発展する企業をめざします。

株主様に対して

経営の健全性と透明性を高め、積極的な情報開示とコミュニケーションで、株主の皆様に安心をお届けします。堅実かつ革新的な経営を推進し、持続的な成長と株主価値の向上に努めます。

社会に対して

法令遵守はもとより、常に高い倫理観にもとづいた事業活動を推進し、社会の全ての皆様に安心をお届けします。環境問題をはじめ地球や社会が抱える様々な問題の解決に、社会と共に取り組みます。

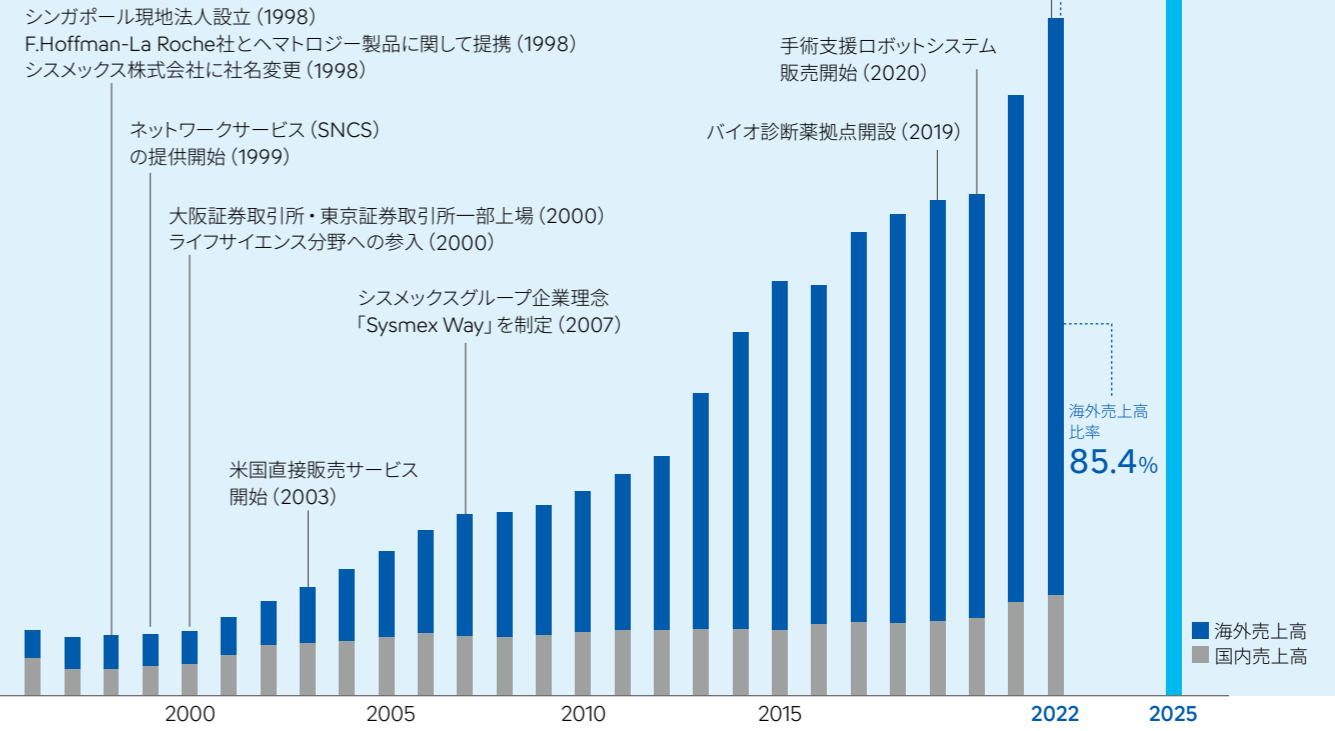
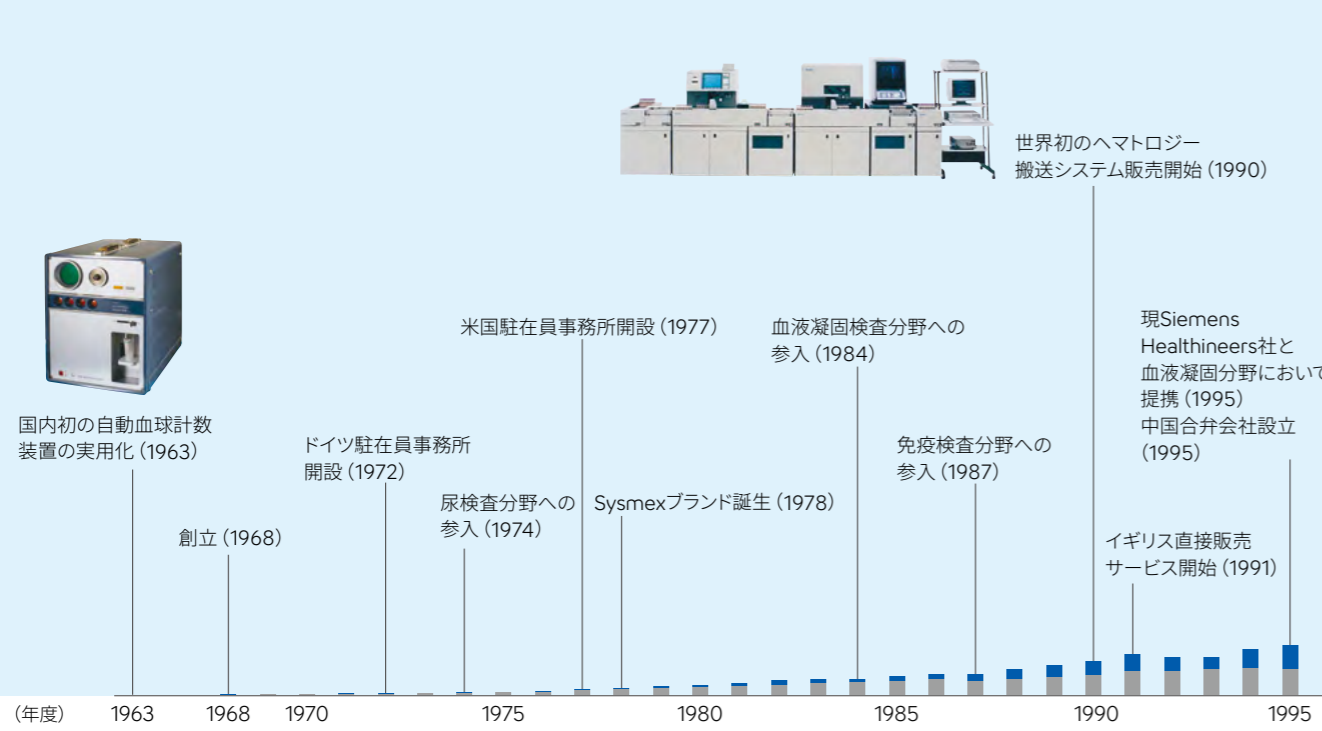
安心(anshin)は、シスメックスの企業理念の根幹にある言葉であり、当社が創業以来追求してきた本質的な価値として、以下のような意味を持ちます。

- ・お客様が使用する当社の製品やサービスについて、**安全性、品質等に不安がない状態**
- ・ステークホルダーが、当社との関係、取引、対話等において**信用・信頼でき不安がない状態**
- ・人々が、自分自身の健康、生活などに**不安がなく、心が落ち着いている状態**

※ 各ステークホルダーへの提供価値であることをより明確に伝えるため、2023年度から「行動基準」を「Shared Values」に改めました。

シスメックスのあゆみ

シスメックスは創業以来、常に環境変化の先を読み、時代のニーズに応じた製品・サービスの提供に努めてきました。国内初の自動血球計数装置の実用化に始まり、今では提供範囲は複数分野にわたり、診断から予防や治療領域にも提供価値を拡大させています。



1963~1980'

環境変化: 国民皆保険導入(日本) 医療需要の増大

シスメックスの提供価値: 血球計数検査の自動化 (ヘマトロジー)

- 国内初の自動血球計数装置の実用化
- 機器に加え試薬も開発し、検査の品質、性能の向上を実現

分野別売上高構成比の推移

1980年度

- ヘマトロジー (一部他分野を含む) 100%

1980'~1990'

環境変化: 医療ニーズの多様化 医療費適正化の推進

シスメックスの提供価値: 検査以外にも 検査室への提供価値を拡大

- 世界初のヘマトロジー搬送システムを開発し、検査工程の効率化、安全性の向上を実現
- 尿・血液凝固・免疫検査へ分野拡大

分野別売上高構成比の推移

1990年度

- ヘマトロジー 90.8%
- ヘマトロジー以外 (尿・血液凝固・免疫検査など) 9.2%

1990'~2010'

環境変化: グローバル化の進展 IT革命の到来

シスメックスの提供価値: 販売・サービスエリアの拡大 IT活用サービスの提供開始

- 直接販売・サービス体制の充実を図り、190以上の国や地域へ提供拡大
- ITを活用した独自のサービス&サポート提供を開始

分野別売上高構成比の推移

2002年度

- ヘマトロジー 54.0%
- 尿検査/便潜血検査 5.0%
- 血液凝固検査 15.5%
- 免疫検査 9.0%
- 生化学検査 4.8%
- その他 11.7%

2010'~

環境変化: 革新的技術の医療への応用 医療の高度化とニーズの多様化

シスメックスの提供価値: 個別化医療など さらなる領域拡大への挑戦

- がん領域における遺伝子検査システムの開発と実用化
- アルツハイマー病検査やマラリア検査などへの拡充
- メディカルロボット事業の開始

分野別売上高構成比の推移

2022年度

- ヘマトロジー 58.8%
- 尿検査 8.3%
- 血液凝固検査 16.3%
- 免疫検査 5.7%
- 生化学検査 0.8%
- FCM検査 0.6%
- ライフサイエンス 4.9%
- その他 4.0%
- メディカルロボット事業 0.6%

スナップショット (シスメックスの経営資源)

(注) 数値は特に注釈がない場合、2022年度末

研究開発力・知的財産

生産・物流体制

グローバルな販売・サービス体制

グローバルな研究開発拠点と技術・ノウハウ

研究開発拠点 **24** 拠点

3カ年累計研究開発投資 **803** 億円
(2020～2022年度)

年平均製品開発プロジェクト数 **約65** 件
(過去5カ年平均)

特許保有件数 **3,832** 件
(特許、実用新案、意匠合計)

課題
・オープンイノベーションなどを活用した技術獲得・強化

品質と安定供給へのこだわり

機器生産拠点 **8** 拠点

生産品目数 (試薬) **1,253** 品目

試薬生産拠点 **14** 拠点

サプライヤー社数(一次) **約250** 社

課題
・グローバルなコスト競争に向けたITの活用強化
・海外への製造移管 (一部地域)

地域・施設ごとに異なる医療ニーズへのアクセス

販売・サービス拠点 **62** 拠点

収集顧客ニーズ **約13,600** 件
(単体)

展開する国と地域 **190** 以上

アライアンス先
Roche、栄研化学、Siemens Healthineersなど

課題
・中国、インドなどにおける販売・サービス体制強化
・ITの高度化によるサービスの拡充

安定した財務基盤

持続的な成長と高い収益性

売上高 **4,105** 億円

売上高営業利益率 **17.9%**

時価総額 **1.8** 兆円

ROE **12.4%**

リカーリング収益比率 **77.6%**
(試薬・サービス&サポート・その他売上)

課題
・さらなる収益性、資本効率の改善

多様な人材

環境資源

個の尊重・成長の実現と人材ポートフォリオ構築

エンゲージメントスコア **71%**

従業員数 **10,522** 名

女性マネジメント比率 **19.5%**
(ロシア除く)

平均教育時間 **30.0** 時間

地域別従業員割合

課題
・エンゲージメントの強化
・グローバルな人材獲得競争への対応

効率的な環境資源の活用

事業活動におけるCO₂排出量削減率 **55%削減**
(基準年度：2016年度)

機器製品使用時のCO₂排出量削減率 **27%削減**
(基準年度：2016年度)

ヘマトロジー分野新製品の消費電力削減効果 **約40%削減**
(自社製品比)

課題
・循環型社会実現に寄与する中長期ロードマップの構築

ブランド力

ステークホルダーからの信頼

米国顧客満足度調査

17年連続1位
(出典：IMV ServiceTrak™ 2023 Hematology)

Systemx Way展開
言語数 **9** 言語

企業風土調査
Systemx Way好意的回答率 **81%**

課題
・さらなるブランド価値の向上

シスメックスのビジネスモデル

事業拡大の流れ



シスメックスは1963年に国内初の自動血球計数装置の実用化に成功し、検体検査におけるヘマトロジー分野へ参入しました。その後、医療需要の増加や多様化する医療ニーズに応えるため、ヘマトロジー分野で培った細胞測定技術やロボティクス技術の応用、さらには検査室全体への貢献を目指し、検査分野を拡大してきました。中でも血液凝固、免疫検査分野のポートフォリオ拡充にあたっては、これらの分野で使用されるバイオ系試薬の開発、生産に強みを持つ国際試薬株式会社(2022年度吸収合併)などをグループに迎えたほか、バイオ診断薬拠点を設立するなど自社開発および生産能力を強化してきました。このような

取り組みなどにより、ヘマトロジー分野を除くダイアグノスティクス事業の売上高は過去10年で3.2倍、売上高比率は40.9%となり、大きく成長しています。

グローバル展開もシスメックスの成長をけん引してきました。創立間もない段階から欧米に駐在員事務所を設立、1990年代にはF.Hoffman-La Roche社やDade社(現Siemens Healthineers社)とのアライアンスなどを通じ、商習慣の異なるさまざまな国への展開を加速しました。その後、イギリスを皮切りに欧州や北米などで直接販売・サービス体制に移行したことがグローバルでの発展につながりました。中国やアジア・パシフィック地域については、

検体検査領域の企業の中で、アジアに本社を置く唯一の企業である強みを生かし、1980年代から参入しています。経済状況や医療体制など国や地域のニーズに合わせ、検査室の構築支援や学術セミナーを実施、検査の標準化や効率化に資する製品開発などにより、国全体の医療品質向上に貢献してきました。このように長年積み上げてきた取り組みにより、海外売上高は過去10年で3.3倍、売上高比率は85.4%となりました。

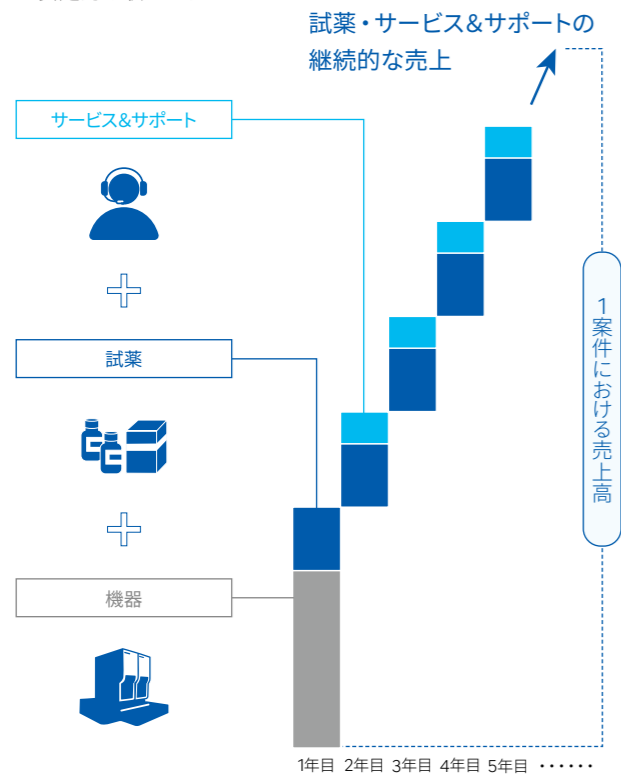
お客様に選ばれるためシスメックスが重視してきたことは、「モノではなく価値(課題解決)の提供」、「安心して検査のできる環境の提供」です。例えば、検査室の生産性や品質

向上のためのソリューション提案、ITを活用したサービス&サポートの拡充により、機器の不具合を未然に防ぐなど、医療機関や患者さんが安心して検査のできる環境を提供しています。これらの取り組みがシスメックスのブランド力へとつながり、高い顧客満足度を支えています。

さらに、医療ニーズの多様化や技術革新を受けて、シスメックスはこれまで培ったノウハウや強みを生かし、オープンイノベーションなどにより、新たな事業の創出に取り組んでいます。

収益構造

■安定的な収益モデル

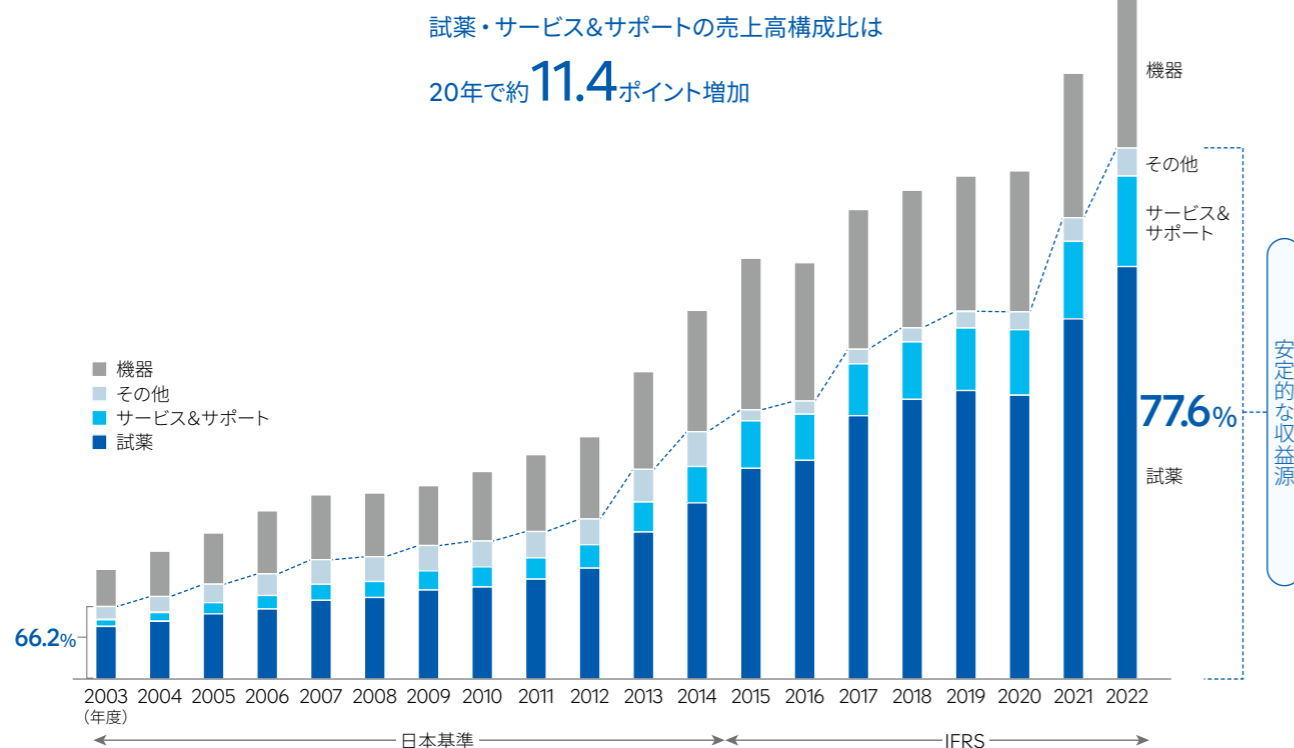


シスメックスの収益構造における特長は、安定的かつ継続的な収益源を有すること、高い収益性です。主力事業であるヘマトロジー分野などにおいては、機器を使用いただいている間、検査に必要な専用試薬やサービス&サポートを提供することによって、継続的に収益が得られるビジネスモデルとなっています。

試薬は機器よりも利益率が高いため、試薬の売上構成比を上げることで収益性向上につながります。シスメックスは、試薬使用量の多い大規模施設のシェア拡大や臨床的意義の高い試薬項目の拡充などを通じ、試薬の売上構成比を高めています。血液凝固検査分野と免疫検査分野については、使用いただいている機器に新たな検査項目を追加することが可能なため、お客様のニーズにあわせて使用する試薬が増加します。

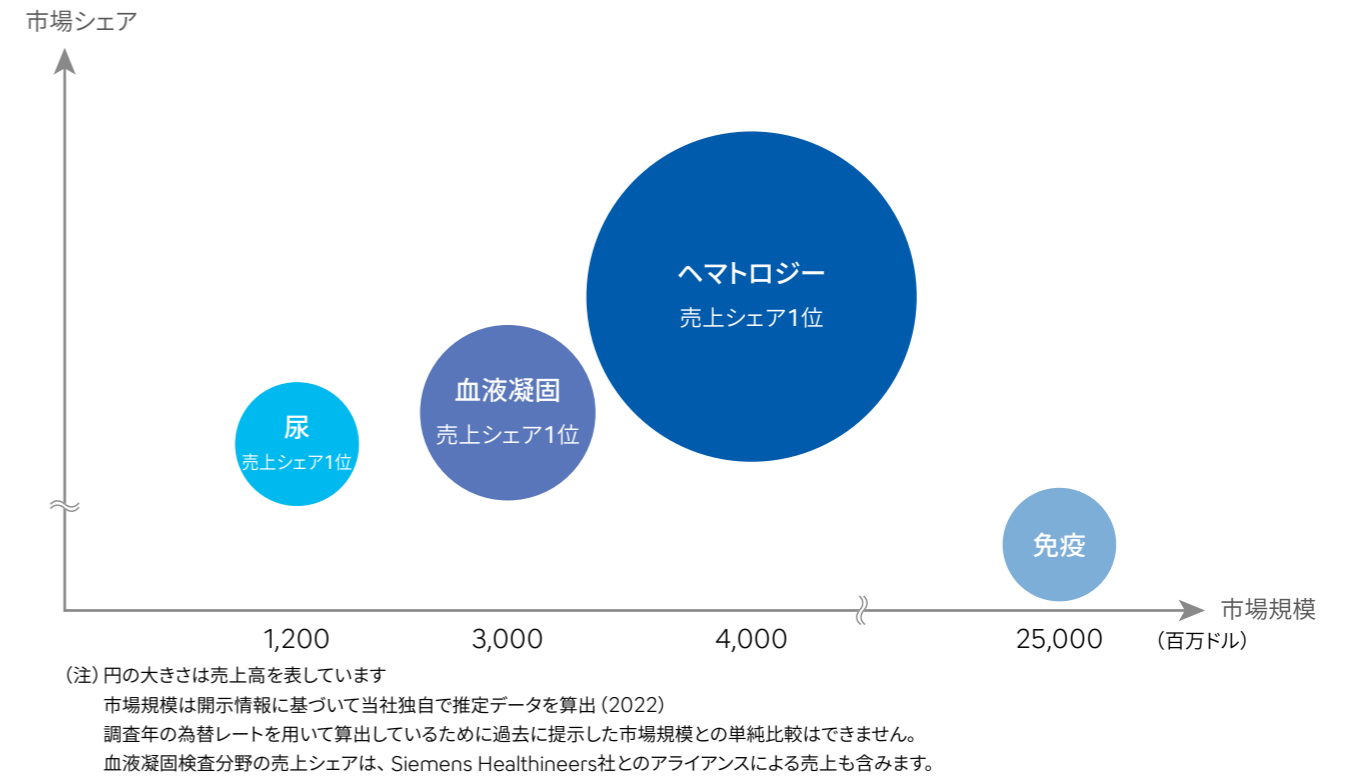
さらに、ITを活用したサービス&サポートは顧客満足度が高く、新規のお客様に加えて、継続してシスメックス製品をご使用いただくお客様も多いことも、安定した収益を生み出す要因の一つです。

■試薬・サービス&サポートの売上高推移



(注) 従来、検査回数に応じてお客様に課金する取引を「その他」に含めていましたが、2015年度以降は「機器」「試薬」「サービス」に分割して表示しています。また、その他には消耗品を含みます。

市場ポジション



■検体検査市場ポジション

世界**10**位*

1. Roche (瑞)
2. Abbott (米)
3. Danaher (米)
4. Siemens Healthineers (独)
5. Thermo Fisher Scientific (米)
6. Becton Dickinson (米)
7. QuidelOrtho (米)
8. bioMerieux (仏)
9. Hologic (米)
10. **Sysmex (日)**

* 2022年開示情報に基づく当社推定

■分野別の状況

主なアライアンスパートナー

● ヘマトロジー	Roche、Cellavision
● 尿検査	栄研化学、Siemens Healthineers
● 血液凝固検査	Siemens Healthineers

主なプレーヤー

● ヘマトロジー	Danaher、Mindray、Siemens Healthineers、Abbott
● 尿検査	Danaher、Siemens Healthineers
● 血液凝固検査	Welfen、Stago
● 免疫検査	Roche、Abbott、Siemens Healthineers、Danaher
● クリニカルFCM	Becton Dickinson、Danaher

約800億ドルと推計される検体検査市場は、世界情勢や景気動向に需要が左右されにくい傾向があり、市場規模も医療の発展とともに成長を続けています。欧米を中心とするグローバルメジャー企業が市場を席巻する中、シスメックスは唯一アジアの企業としてTOP10入りを果たしています。特にヘマトロジー分野においては、50%以上のシェア

を獲得するなど、強固なポジションを確立しています。また、尿検査分野や血液凝固検査分野においても、アライアンスパートナーとの協業などにより、製品ポートフォリオを拡充、販売地域の拡大を通じて、グローバルシェアNo. 1を獲得しています。免疫検査分野においては事業拡大を目指し、ユニークな試薬項目の開発を進めています。